わたくしたちの健康

溶連菌感染症

朝霞地区医師会　宇野　拓
☎048-464-4666

溶血性連鎖球菌、略して溶連菌という名前の細菌が原因で起こる病気を、溶連菌感染症といいます。

症状

のどに感染すると、2～5日（潜伏期間）ほどしてのどの痛み、発熱がみられますが、3歳未満ではあまり熱が上がらないと言われています。体や手足に小さくて赤くてかゆみのある、さわるとザラザラする発疹が出たり、舌の表面がイチゴのように赤くブツブツになったりします（イチゴ舌）。そのほか吐き気や腹痛、頭痛がみられたり、首すじのリンパ節のはれや中耳炎などを起こすことがあります。ただし風邪と違って、せきや鼻水はあまりみられません。

皮膚に感染すると「とびひ」になります（ただし、とびひのほとんどは黄色ブドウ球菌という名前の細菌が原因です）。

診断

症状や経過、特にのどの診察で比較的容易に溶連菌感染症は疑われ、のどについた細菌の検査で10分以内に溶連菌感染症かどうか診断できます。しかし、受診する前に「調子が悪いから」といって、以前処方されて残っていた抗生物質を飲んでしまったりすると、正しく診断できません。

治療

治療には抗生物質が使われます。溶連菌は、せきやくしゃみなどで近くの人に感染（飛沫感染）しますが、適切な抗生物質を飲み始めてから24時間以上たっていれば、ほかの人にはうつりません（うつらないくらいまで溶連菌は退治されています。米国における隔離期間は、治療開始後24時間経過するまでとなっています）。もし、抗生物質を飲んで2～3日たっても症状が良くならない場合は、再度受診してください。

病気の原因となっている溶連菌を完全に退治するためには、抗生物質を10日間程度飲み続ける必要があります。症状が改善しすっかり元気になると、つい抗生物質を飲み忘れてしまいそうですが、途中で飲むのをやめてはいけません。しっかり抗生物質を飲まないと、ときに、溶連菌感染後急性糸球体腎炎やリウマチ熱といった溶連菌感染症の続発症（合併症）につながることがあるからです。

続発症（合併症）

溶連菌がのどに感染したあと1～2週間、皮膚に感染したあと3週間位して、急性糸球体腎炎はみられます。血液から尿を作っている腎臓がいたむので尿がほとんど出なくなり（乏尿）、出てくる尿も麦茶のような色や赤い色になります（血尿）。尿が出ないので体に水分がたまり、むくみ（浮腫）や高血圧となります。症状は全てがそろうとはかぎらないため、溶連菌感染症と診断されたあとは尿検査が勧められます。

リウマチ熱は溶連菌に感染した2～3週間後にみられ、関節、皮膚、心臓、神経系に障害がでます。近年、日本を含む先進国ではあまりみられなくなりました。

予防

溶連菌に効く予防接種はありません。しかも、一度かかっても免疫はできないので、何度でもかかることがあります。大人になってもかかります。実際、短期間に溶連菌感染症を繰り返す患者さんの家族を調べてみると、本人以外にも溶連菌が見つかることがあります。家族内を溶連菌が渡り歩いて（保菌されて）、溶連菌感染症を繰り返していたのです。このような場合には、症状がなくても家族全員が同時に治療をうける必要があります。

溶連菌感染症にかかっている人と接触した場合、抗生物質を飲んでかかるのを予防することも可能ですが、結局、手洗いやうがい、溶連菌感染症にかかっている人が身近にいるならタオルやコップなどの共用をさけることが一番望ましい感染予防法のようです。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10：00～午後４：00

月日		場所	診療所名	科目	☎(048)	場所	診療所名	科目	☎(048)
7	5	朝霞	鈴木内科	内・小	473-6611	志木	吉川産婦人科	産婦	473-8739
	12	新座	宮崎医院	内・呼・循・消・胃・小	(042) 474-0458	朝霞	稲生整形外科	整・リハ・リウ	462-2422
	19	新座	わかばクリニック	内・アレ・循・小	489-5323	朝霞	根本整形外科	整	467-4154
	20	朝霞	朝霞台クリニック	内	472-1288	新座	志木駅前クリニック	内・循	473-8101
	26	朝霞	新谷医院	内・消・呼・循・胃	461-3238	和光	和光耳鼻咽喉科医院	耳・アレ	467-0889

※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。

※７月の休日歯科応急診療所

実施日　7／5(日)・12(日)・19(日)・20(月)
受付時間　午前９時～11時30分
場所　新座市休日歯科応急診療所（新座市保健センター）
診察料　健康保険法の規定料金（保険証を必ずお持ちください。）
問い合わせ　☎048-481-2211

※救急医療のお問い合わせ

●埼玉県救急医療情報センター　☎048-824-4199
●埼玉県南西部消防本部　☎048-460-0123

※小児救急電話相談

●＃8000（携帯電話からも相談可能）

☆今月の主な保健衛生週間行事予定

７月は「愛の血液助け合い運動」月間です！